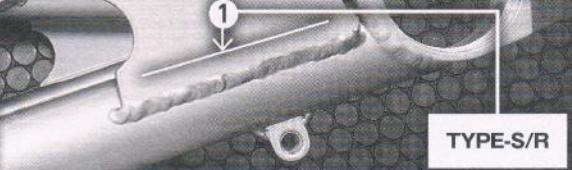
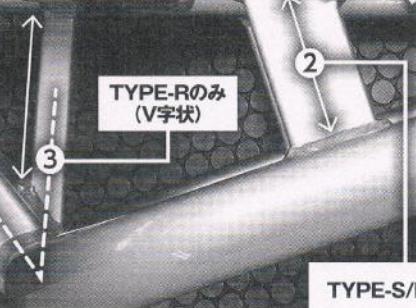


# SWING ARM REINFORCEMENT

スイングアーム補強



ベガサス・スイングアーム補強メニューはSTDベースに“走る場所を選ばない”TYPE-R(5カ所、加工費用7万7400円)と“ワインディングをハイペースで走れるハイコストパフォーマンス”TYPE-S/R(4カ所、同7万2800円)を設定。DAEG(写真)、1200、1100のそれぞれで同様に行える



歴代ZRXスイングアームの違い

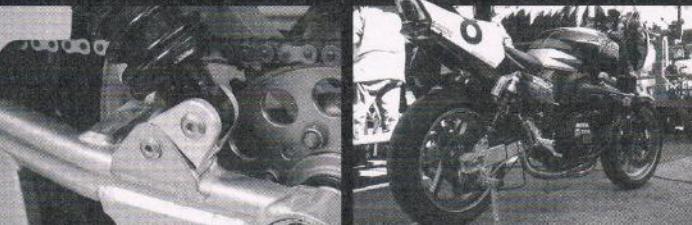
	パイプ	長さ(1100基準)	フォークオフセット(参考)	サス位置
DAEG	D断面	+15mm	28mm	1200から20mm後ろ
1200	リブ追加	+15mm	30mm	15mm前
1100	丸断面	--	28mm	--



## エンジンがスムーズ化したら 考えたい振られ対策

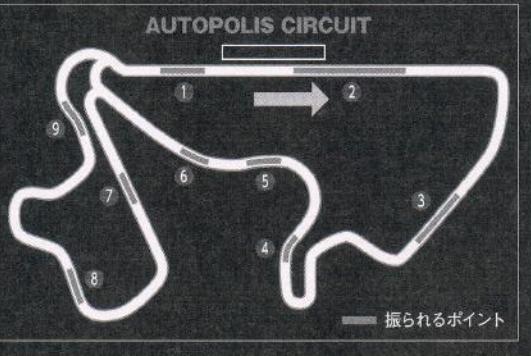
エンジンがスムーズ化して、より開けられるようになると振られなど車体側が気になる。この時に使えるのがスイングアーム補強メニューだ。

1は極厚5mmのアルミプレートで三角部を、2は20×45mmアルミ角材で上下をつなぎ、カスタム感も獲得。通常ならここまでよく、3の下側前縁と上パイプをつないでV字を作るのは最も効き、サーキットもOKに



下図は山本さんがオートポリスで車体ほほSTDのZRXを走らせ、振られた地点。コーナーを立ち上がりて次の切り返しを待つ地点が振られる、つまり加速等の操作がしにくい。これを上右の1100レーサーで克服、そのノウハウを投入したのが上のアーム補強メニューだ。左はレイダウントマウントで、1200R/S用(A2017材でウイリー製、3万9800円)。よりしなやかな足まわりを作ることが出来る

## 次の切り返しを待つ地点が振られる



山本さんは初代1100だけではなく、1200やDAEGでも多くの車両を手がけると同時に、そんなZRXシリーズのオーナーが一貫して抱える悩みの解決法を探ってきた。「エンジンブレーキの強さが気になると、いう人も多いはずです。強過ぎてリヤがホッピングするのはネガで、ならシフトダウン時に半クラ操作で

1200だけでなく、クラッチの構造/バーツが異なる6速のDAEGでも最適化を行ったものを設定した。このキットでZRXはかなり乗りやすくなります。それで走りに集中できるようになると、足まわり、車体の問題が改めて明確になるわけだ。「スイングアームのねじれ、それからフロントフォークの緩めの動きを何とかしたいなあと思つよつにならぬです。もちろん、社外品に換え



ピボット～アクスルをつなぐ上側部材が作る平面が実際に力のかかる場所で、これが対角線(C/D)を軸にねじられ、振られの元になるため補強で抑制。純正でも1200で15mm伸びた際にリブ入り、DAEGでD字断面へと変化



## ZRXのオールラウンド性をより高めるバーツを

「歴代ZRXではスイングアーム材が丸断面から横円リブ入りに、さらにDAEGではD字断面になっています。社外品のように明確に効果があるのかは別としてですが、

フレームの別体右ダウントチューブも、1200のA5で若干肉厚アップしています。社外品のように明確に効果があるのかは別としてですが、

1200の時にホイール幅が5、00→5・50になってタイヤも170↓180に変わりましたし、スイングアーム自体も15mm伸びたことの対策でもあるとは思います」

山本さんは初代1100だけではなく、1200やDAEGでも多くの車両を手がけると同時に、そんなZRXシリーズのオーナーが一貫して抱える悩みの解決法を探ってきた。「エンジンブレーキの強さが気になると、いう人も多いはずです。強過ぎてリヤがホッピングするのはネガで、ならシフトダウン時に半クラ操作で

バケットトルクを逃がして対策しますけど、それを気にしなくてよくなれば、走りにより集中できて、攻めるコナーリングもできるわけです」そのため作つたのがスリップバークリッチャーバックトルクリミッターキットだった。今こそ純正採用車が増え出しているが、山本さんは1100が1200に切り替わる前の2000年にこれを製品化し、170ps仕様のチューニングエンジンでも、もちろんノーマルエンジンでも、ボルトオンで使えるように作った。装着車には全日本のトップライダーも乗り、確かな評価を得てきた。

コーナリングに専念できる。加えて、レートを10%高めた強化・軽量スプリングで高速時の加速性能を強め、走りがクリッとする。減速時のミッショニングやクランクにかかる力を逃がすから負担が減り、同部の破損やかじりを防ぎ、長寿化も図れる。

膨大な走行テストで最適な材料や効き位置を探り、オリジナルのクラッチスプリングも作った上で展開。この15年強で何度もスプリングが変更、また走りの違いに応じてレートの異なるものも選べるようにと選択肢も増えた。5速の1100→1200だけでなく、クラッチの構成/バーツが異なる6速のDAEGでも最適化を行つたものを設定した。このキットでZRXはかなり乗りやすくなります。それで走りに集中できるようになると、足まわり、車体の問題が改めて明確になるわけだ。「スイングアームのねじれ、それからフロントフォークの緩めの動きを何とかしたいなあと思つよつにならぬです。もちろん、社外品に換え